

# みやぎ小学生 いじめ問題を考えるフォーラム

## 開催しました！

宮城県教育庁義務教育課

大きな社会問題となっているいじめ問題について、小学生が学校を超えて話し合い、児童一人一人が「いじめは人間として絶対に許されない」ことを認識し、望ましい人間関係づくりに取り組み、協力してよりよい学校生活を築けるよう促すために、平成25年度「みやぎ小学生いじめ問題を考えるフォーラム」を開催しました。

○日時 平成25年8月7日（水）9:50～15:00

○場所 県庁2階講堂

○参加者 県内公立小学校児童140名（仙台市を除く）、教育関係者87名

○講師 ファシリテーター：ALL東北教育フェスタ（県内大学生・専門学校生33名）

### ○内容(概要)

#### (1) 開会行事

##### ○知事メッセージ



村井県知事からいただいたビデオメッセージを上映しました。

##### ○教育委員メッセージ



宮城県教育委員会教育委員から、いじめ根絶に向けたメッセージが話されました。 ※メッセージの内容は当課HPに掲載しています。



#### (2) グループング、アイスブレイク



名札の裏に隠されていたカードを頼りに、班のメンバーを探します。



自己紹介ゲームをし、ちょっとだけ仲良しになりました。

ワークショップのファシリテーターを担当したのが、県内の大学生と専門学校生で組織する「ALL東北教育フェスタ」の皆さんです。年齢が近く、話しやすい雰囲気を作り出し、児童から多くの考えを引き出すことができました。

#### (3) ワークショップ

##### ①KJ法を用いたいじめのイメージの引き出し



まずは、班内でもう一度自己紹介。



いじめに関するイメージを付箋紙に次々書いていきました。



付箋紙を模造紙に自由に貼っていきました。

## ②被害者の感情に焦点を当てた話し合い



- 「なぜいじめをしてはいけないのか」と問いかけ、児童同士で話し合いました。その考え方として、いじめの被害者への感情に焦点を当て、「つらい」「悲しい」などの感情を引き出していました。
- 出た意見を、付箋紙に書いて貼るなどして膨らませました。

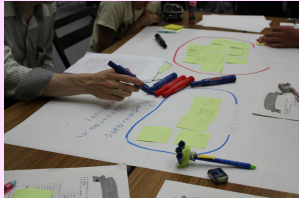
## ③加害者の感情に焦点を当てた話し合い



児童が貼った付箋紙から、「～する人ってどうして〇〇するのか」と問い、加害者の感情に焦点を当て、感情を考えていきます。「おもしろい」「楽しい」「あいつ嫌い」などの感情を引き出していました。

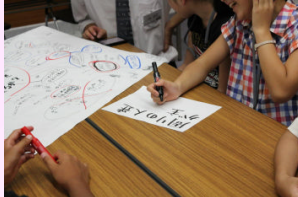
※(4)と(5)は、前後したり、交互になったりと、班の状況によって進め方は異なっていました。

## ④被害者と加害者の感情の比較



②と③で上がった被害者と加害者の感情を比較し、両者の感情にずれがあることを示した上で、いじめの定義「いじめられた人がいじめられたと感じればいじめになる」ということに気付かせました。

## ⑤スローガンの作成



①から④のワークショップを通して考えたことを基に、班で一つのスローガンを作成しました。キーワードからまとめたり、一人ずつ考えたりと、グループにより方法は様々でした。

## ⑥ポスターの作成



⑤で作成したスローガンを表すポスターを作成しました。班内で役割分担をし、一人の児童がすべてを描いてしまうことがないように配慮しました。

## ⑦共有と発表



全28の班を4班構成の7グループに分け、グループ内でスローガンとポスターを共有し、よいと思うものの1つに絞りました。最後に7つのグループから作品を1つずつ発表しました。

## (4) 閉会行事



感想を古川五小の千葉さんと湊小の加美山さんが発表しました。今回の取組を学校生活に生かしたいと力強く話していました。

終わりに、「わたしのいもうと」(松谷みよ子・文、味戸ケイコ・絵)を義務教育課鈴木課長が朗読し、オープンエンドによりフォーラムを締めくくりました。

## 〇スローガンの作成について

班ごとにいじめ根絶に向けたスローガンを作成し、次の7つを参加小学生で選びました。各学校・地域で、スローガンを活用し、いじめ根絶に向けた取組をしていくことを確認しました。

- ・ いじめを見たら勇気を出して一歩ふみ出せ「救世主」
- ・ 勇気と思いやり
- ・ 相手のことも考えよう 君の気持ちが未来を変える
- ・ いくらいじめられても必ず自分の見方はいるからこそ勇気を出して助けを求めよう
- ・ さしのべよう希望の手 正義のヒーローはあなただ！
- ・ いじめを無くせば友達∞ ～君の勇気でみんなHAPPY～
- ・ いじめられている人を無視せず 勇気を出して手を差し伸べよう！！

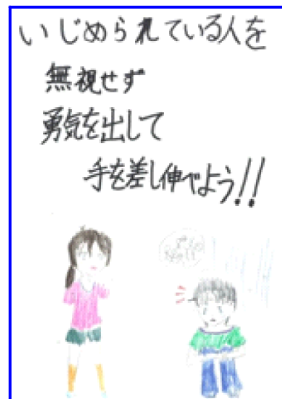
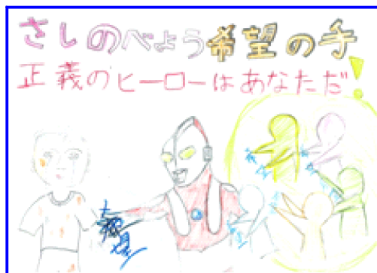
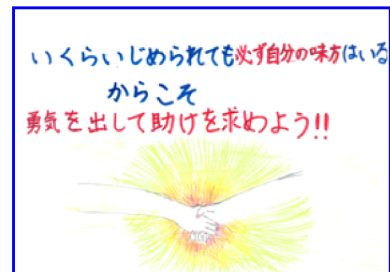
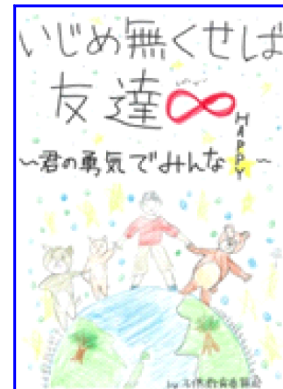
### 【その他の作品】（以下順不同）

- ・ 本当にいじめをやっているのか考え直してみよう！
- ・ いじめは絶対ダメ
- ・ 相手の気持ちを・・・忘れない 大切に作る 考える！
- ・ 相手の気持ちを考えて、その人を助けてあげよう
- ・ いじめにあったらすぐに大人に相談しよう
- ・ いじめを無くすために協力し合おう！
- ・ ためこまず 勇気を出して うちあげよう
- ・ いいところみつけて仲良くし いじめの起きない学校づくり
- ・ いじめにあったらすぐ大人に相談しよう
- ・ 相手の気持ちを考えてその人を助けてあげよう
- ・ 周りの人たちが主催した事を皆でやりとげよう
- ・ 自分を見つめ、認め合い、みんなのいい処を探そう
- ・ 心の叫びをきいて助けよう
- ・ いじめはあそびじゃない
- ・ いじめのない世界～みんなで考えるいじめられている人の気持ち～
- ・ いじめにあばよ！
- ・ 広げよう 仲間の輪 勇気を持って 話してみない？
- ・ 勇気を出して言ってみよう きっと楽になる！！
- ・ いじめてないですか？ あなたの友達
- ・ いじめは絶対ゆるさない ～いじめられている人をたすけてください～
- ・ いじめていることに気付いてますか？
- ・ 気持ちで負けないために 自分に自信を持ったら君の勝ち
- ・ いじめを  
見  てみぬふりをしない  
た  たかない  
際  べつしない  
 つも助ける  
は  輪をつくれるような友達である  
をこころがけよう！！
- ・ まず注意 それでもだめなら 大人に相談
- ・ 被害者が思った瞬間 いじめ

- ・相手の気持ちを考えよう
- ・いじめにあったら相談しよう
- ・弱気にならないで自分の気持ちをはっきり言う
- ・小さなことが大きなことに 勇気があると仲間を守れる

### ○ポスター（案）の作成について

選出された7つのスローガンを生かして作成したポスター（案）です。短時間でしたが、児童の創意工夫あふれる作品に仕上がりました。この（案）を基に、後日当課でチラシを作成します。



### ○ 県内小学校関係の皆様へ

各小学校、市町村教育委員会に、開会行事で披露した村井県知事からのビデオメッセージをDVDにして配布しました。各学校・地域で御活用ください。

また、今回作成したスローガン及びポスターは、話し合いをもとに、小学生が作成したものです。作成には様々な方法がありますし、いじめ根絶に向けた取組は、今回のようなワークショップの他にも多々考えられるところです。今回は、その一例として紹介させていただきましたので、各学校等で参考にし、いじめ根絶に向けた意識の高揚と行動の広がりを図る取組につなげていただければと願っています。

## 【参考】事後アンケート結果（抜粋）

### 児童へのアンケート

「ワークショップはどうでしたか」（回収136人／140人）

(1) よかった 126人 (2) ふつう 8人 (3) もう少し 2人

#### (1)「よかった」と書いた児童の感想

- ・いじめを止めるには、見ている人がいじめられている人を守らなければいじめは止まらないことが分かりました。
- ・ワークショップで学んだことを生活でも生かしていき、学級活動でみんなに話してみたい。
- ・こういういじめの問題の話し合いがあるなら、またやりたいです。本当に楽しかったです。学校でもやりたいです。
- ・ワークショップはとても楽しかったです。みんなと話が合っていたと思います。昼過ぎからたくさん話すようになりました。
- ・グループで協力して、いじめのことやポスター作りをしてとても楽しかったし、いじめのイメージや場所を付箋に書いて話し合ったことがとても勉強になりました。みんな別々の小学校で緊張したけど、仲良くなれて良かったです。
- ・いじめをやっている人、やられている人のことを考えてみて、その人の気持ちがよく分かった気がしました。「さびしい、悲しい、仲間」、「おもしろい、うざい」など、いじめの中にいろんな感情があることが一番分かりました。これからは、今日話したことを学校で話し、いじめが出ない学校にしたいです。
- ・いじめがどれだけひどいことなのかを知ることができた。ファシリテーターの人たちが私たちの進行役をして、すごくスムーズに進めてくれたのが良かったです。これからはいじめがないように、今日のことを思い出していきたいです。
- ・私はいじめ問題に対してあまり深く考えたことがありませんでした。ですが、フォーラムに参加して、とても楽しく真剣に考えられたので良かったです。これからは、待つのではなくて、自分からいじめをなくそうと思いました。

#### (2)「ふつう」と書いた児童の感想

- ・今まであまり気にしていなかったいじめ問題について、みんなで真剣に話したら、いじめは身近なことなのだと改めて思いました。今日は、みんなと楽しく話し合うことができ、大切なことが分かりました。このような時間を設けていただきありがとうございました。
- ・初めて会って交流もできたし、話し合いもできた。最後のポスター作りでは、勇気というテーマで絵を描いた。とっても楽しい一日だった。この会はずっと続けてほしい。そしていじめゼロの街にしていければと思う。とっても楽しい一日をありがとうございました。
- ・いろいろな悩みをぶつけられたので良かったです。今日学べたことをこれからもやる続けたいと思います。

#### (3)「もう少し」と書いた児童の感想

- ・いじめについて深く考えることができた。対処法も考えたので、もしいじめにあったら活用していきたい。
- ・今日話し合ったことやできそうなことを2学期にやっていけたら良いと思います。

## 引率した教員へのアンケート

「児童対象ワークショップについての感想をお書きください」

- ・はじめは緊張気味の子どもたちでしたが、少しずつ緊張がとけ、活発に話し合っていた。最後のスローガンを見て、子どもたち自らが見つけ出した温かい、力強いメッセージに感動しました。今日参加した2人が、クラスに今回考えたことを伝えていく場を作りたいと思います。今後も続けていってほしいです。
- ・学生さんが一生懸命頑張っている姿がとてうれしく思いました。我々教員や県教委の方々が企画すると、どうしても型にはまって決まった答えしか出せないと思います。その点、児童らと年の近い学生さんが柔軟な発想で企画を行ったことは、子どもたちのいろんな意見を引き出すという意味で、とてもよかったと思いました。学生さんたちにくれぐれもよろしくお伝えください。ありがとうございました。
- ・場を設定するのに少し時間がかかりすぎたかなと思います。大学生をファシリテーターとしてグループをまとめていただけたのは、子どもも新しいつながりをもて、よい経験になったと思います。ワークショップによる話し合いは、子どもたちにとって時間的に長いかなと思いました。もう少しメリハリをもたせた工夫が必要かなと思いました。
- ・本校の児童は、日頃「いじめ」について考える機会がなく、どの程度意見が出るか心配であったが、他校の子どもたちの意見を聞くことで、「いじめ」について考えるよい機会となった。今回参加した児童は、いじめの当事者でないと思うが、今回のフォーラムをきっかけに困った子を助けてくれる存在になってくれると思う。
- ・県内から集まった児童たちが、初対面で話し合うということは、とても勇気のあることです。自分の考えや思いをしっかりと言える児童が多く驚きました。子どもたちにとって、よい機会となったと思います。ただ、一部の児童しか述べていないグループもあったので、全員に話を振る配慮があると、全員が盛り上がったと感じました。また、学校でもやってみたいと感じました。
- ・ワークショップという形だったので、自由に考えを話すことができたようだ。ファシリテーターの皆さんによく進めていただいた。いじめ防止について大切な要素の一つである「相手を知る」ことや「自分を開く」ということについても学ぶことができたようだ。
- ・ファシリテーターによって、グループ内の活発さは違っていたが、準備段階での共通理解はどのようになっていたか、気になる部分であった。ただ、最終的に子どもたちが納得できるまとめ方までたどりつけたのは、すばらしかったと思います。

- ★ 多数の御意見・御感想をいただき、大変ありがとうございました。
- ★ 会場の都合で仙台七夕祭り期間中の開催となり、多くの皆様に御迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。また、会場設営や昼食のとり方等についても、多くの御意見をいただいていますので、今後、こうした反省点を生かしながら、いじめ根絶に向けた様々な取組を実施していく予定です。
- ★ 今回のワークショップを参考に、各学校で実態に応じた取組が推進されるよう願っています。